

◆ICT 活用授業実践の紹介 2

支援学級(ひまわり学級)、通級指導教室(チャレンジ教室)、専科の授業での効果的な活用方法を紹介します。QRコードから指導略案をご覧ください。



ひまわり1組

神谷 徹

「カタカナや漢字と数の習得」

ひまわり2組

高塚 綾華

「ひらがなの習得」

ひまわり3組

梅本 恵美

「言葉と数の習得」

ひまわり4組

湯口 芽衣

6年「国語の授業」

チャレンジ

赤瀬 瞳

3年「国語の授業」



家庭科

井ノ内 やす子

6年「一年間の学習のまとめ」

理科

大浦 正好

5年「ヒトの誕生」

音楽科

杉谷 直美

6年「レミソラシの5音で作曲しよう」

外国語科

西口 史織

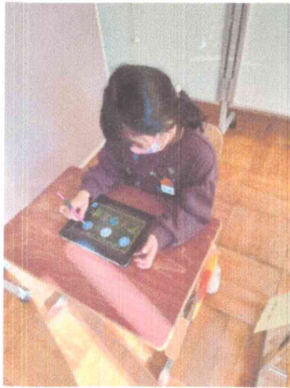

6年「This is my town.

自分の町や都道府県について紹介しよう」

保健室

伊藤 智恵美

「手洗いうがいをしてコロナに負けない体をつくろう」




・学年/教科	ひまわり1組	授業者 神谷 徹
・事例タイトル	カタカナや漢字と数の習得	
・授業の概要 (ねらい)	<p>○本日の課題を知り、集中して取り組む。</p> <p>○数唱や計算を正しく行う。</p> <p>○声の大きさ、文節に気をつけて文を正確に読む。</p> <p>○漢字やカタカナの書き順に気をつけて書き、覚える。</p> <p>(授業展開)</p> <p>1、「ぐるぐる迷路」をする。</p> <p>2、スリーヒントなぞなぞをする。</p> <p>3、「100玉そろばん」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2とび、5とび、10とびの数唱 ・30からの逆唱 ・10になる数の組み合わせ <p>4、デイジーで「くじらぐも」を聞く。</p> <p>5、「くじらぐも」を音読する。</p> <p>6、漢字、カタカナの練習をする。(ipad)</p>	
	 	
・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など	<p>○使用機器 ipad</p> <p>○使用機能 デイジー1年国語教科書 にほんごーかたかな アプリ 漢字筆順学習アプリ「そらがき」(文溪堂)</p>	
・伏山 STEPS との関連	<p>☑S(スキル) □T(ツール) □E(エクスプローラー) □P(プログラミング) □セキュリティー</p>	
・タブレット活用により期待できる効果やねらい	<p>○デイジー教科書を使うことで、教科書の内容を視覚と音声の両方でスムーズに聞くことができる。</p> <p>○書き順を間違えることなく、カタカナや漢字を習得することができる。</p>	
・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など	<p>○デイジー教科書を使用することで、文字だけでは分かりにくい言葉のかたまり(単語)やつながりが分かり、発音も耳で聞いて覚えることができた。</p> <p>○筆順アプリを使うことで、教師がずっと見ていなくても、正しい筆順で漢字を書くことができた。</p> <p>○児童が初めて聞く単語が出てくることがあるので、語彙が増える。</p> <p>○習得してきた漢字には、合格の印が表示されるので、学習してきた量がわかりやすく、励みになる。</p> <p>○機器を使用することに興味を持ち、自分から進んで学習に取り組む姿勢が見られる。</p>	


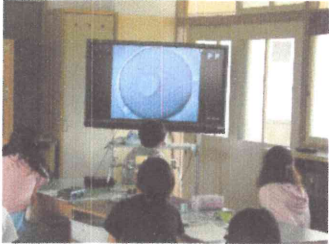
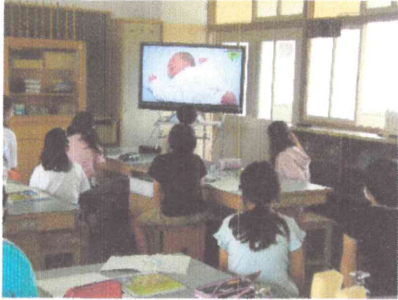
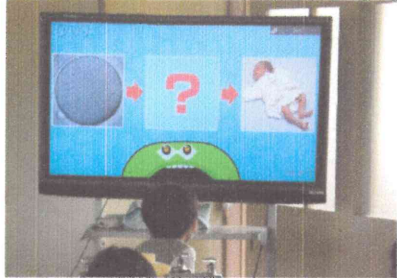


・学年/教科	ひまわり2組	授業者 高塚 綾香
・事例タイトル	ひらがなの習得	
<p>・授業の概要 (ねらい)</p> <p>○本日の課題を知り、集中して取り組む。 ○文を正しく読む。 ○書き順に気をつけ、丁寧にひらがなを書く。</p> <p>(授業展開)</p> <p>1、スリーヒントクイズ 2、音読「くじらぐも」 3、ひらがなプリント ・筆順ぷりんと ・「ぬ」 4、ipad ひらがなアプリ ・「わ」 ・「れ」 5、ひらがなパズル 6、もじあてクイズ 7、ひらがなカルタ</p>		
<p>・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など</p> <p>○使用機器 ipad ○使用機能 はじめてのひらがな・カタカナ アプリ</p>		
<p>・伏山 STEPS との関連</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>S(スキル) <input type="checkbox"/>T(ツール) <input type="checkbox"/>E(エクスプローラー) <input type="checkbox"/>P(プログラミング) <input type="checkbox"/>セキュリティ</p>		
<p>・タブレット活用により期待できる効果やねらい</p> <p>○書き順を間違えることなく、ひらがなを習得することができる。 ○学習したひらがなのつく単語を、読めない字が含まれていても音声で知ることができる。</p>		
<p>・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など</p> <p>○習得してきたひらがなは、色が変わって表示されるので、学習してきた量がわかりやすく、自信をつけることができる。 ○児童が初めて聞く単語が出てくることがあるので、語彙が増える。 ○プリントに字を書くより、機器を使用するほうが楽しく学習に取り組んでいるように感じる。</p>		

・学年/教科	ひまわり3組	授業者 梅本 恵美
・事例タイトル	言葉と数の習得	
<p>・授業の概要 (ねらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中して、課題に取り組むことができる。 ・正しく鉛筆を持ち、読み書きすることができる。 <p>(授業展開)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、学習内容の確認する 2、音読「馬のおもちゃの作り方」 3、プリント学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなプリント ・視写「たべものあいうえお あっちゃん あがつく」 4、マッチング 5、自立活動 <ul style="list-style-type: none"> ひも通し(5分)→数を数える 6、ipadでの学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなの書き順 ・つまる音とのばす音の教材 		
<p>・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○使用機器 ipad 1台 ○使用機能 デイジー2年国語教科書 言語習得アプリ(タッチペン) 		
<p>・伏山 STEPS との関連</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>S(スキル)<input type="checkbox"/>T(ツール)<input type="checkbox"/>E(エクスプローラー)<input type="checkbox"/>P(プログラミング)<input type="checkbox"/>セキュリティー</p>		
<p>・タブレット活用により期待できる効果やねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デイジー教科書を使うことで、教科書の内容を視覚と音声の両方でスムーズに聞くことができる。 ○ipad のタッチペンで言葉をつくることで、文字を書かずに、リズムよく、短時間で言葉づくりをすることができる。 		
<p>・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デイジー教科書を使用することで、自分で読んでみたいと、漢字にふりがなを書き音読に取り組む姿勢が見られた。 ○ipad の書き順アプリを使うことで、次の画数が示されるため自信を持って取り組むことができるようになった。 ○ipad での言葉の学習により、反復練習が進めやすかった。また、苦手なところを分析し、ポイントを絞って学習を進めることができた。 		

・学年/教科	ひまわり4	授業者 湯口 芽衣
・事例タイトル	6年国語の授業	
<p>・授業の概要 (ねらい)</p> <p>・ICT 機器を用いて視覚的に示すことで学習の理解を深める。</p> <p>(授業展開)</p> <p>1、アプリでビジョントレーニングに取り組ませる。</p> <p>2、漢字の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字ドリルで新出漢字の練習 ・漢字筆順アプリで、既習漢字の復習 <p>3、「やまなし」の内容理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デージーで読みの支援を行う。 ・「かわせみ」「金雲母」などの理解の難しい言葉を画像や動画を用いて意味理解を図る。 ・プリント教材を使って本文理解の学習に取り組ませる。 <p>4、「回れ右」の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「回れ右」の足の動きをスローモーションで録画した動画を見せながら、足の動きの確認をしながら練習に取り組ませる。 		
<p>・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など</p> <p>○使用機器 iPad</p> <p>○使用機能 アプリ・インターネット・録画機能</p>		
<p>・伏山 STEPS との関連</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>S(スキル)<input type="checkbox"/>T(ツール)<input type="checkbox"/>E(エクスプローラー)<input type="checkbox"/>P(プログラミング)<input type="checkbox"/>セキュリティー</p>		
<p>・タブレット活用により期待できる効果やねらい</p> <p>○視覚的に訴えることで、言葉理解が深まる。</p> <p>○立体的なビジョントレーニングが出来るので、空間認知を鍛えさせることができる。</p>		
<p>・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など</p> <p>○漢字学習ではアプリを使用することで、児童が自分のつまずきに気付くことができた。</p> <p>○国語では日常生活に馴染みのない言葉がたくさん出てくる。その際に画像や動画を用いて意味説明を行うことで、言葉の理解が深まっているように感じる。</p>		

・学年/教科	通級指導教室/国語科	授業者 赤瀬 瞳
・事例タイトル	3年国語	
<p>・授業の概要 (ねらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を用いて視覚的に示すことで学習の理解を深める。 ・ICT 機器を用いて視覚的に示すことで漢字の全体把握や細部把握につなげ、漢字を正確に読み書きできる学習を深める。 ・ICT 機器を用いてビジョントレーニングに取り組むことで視機能の力を高める。 <p>(授業展開)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① トーキングゲーム ② なぞなぞ パソコンから出力したスクリーンの問題について、答え合わせでは文字・写真・イラストなどで確認する。 ③ 聞くとレ ④ 漢字ドリルの書き 間違えた漢字は iPad の筆順アプリで確認し練習する。 ⑤ 考えるプリント ⑥ 算数プリント ⑦ しっかり見よう それぞれのパソコンで自分のメニューに取り組む。 ⑧ それぞれ課題 A児考えるプリント B児 文作り C児 運筆・書字 		
<p>使用機器 ・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など</p> <p>○使用機器 iPad・パソコン</p> <p>○使用機能 アプリ・インターネット・録画機能 CD ソフト</p>		
<p>・伏山 STEPS との関連</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>S(スキル) <input type="checkbox"/>T(ツール) <input type="checkbox"/>E(エクスプローラー) <input type="checkbox"/>P(プログラミング) <input type="checkbox"/>セキュリティー</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやタブレット活用により期待できる効果やねらい ・視覚的に訴えることで、言葉や内容理解が深まる。 ・大きな画面で漢字の筆順や形を確認できることで漢字の視覚記憶が高まり漢字学習の定着力を高めることができる。 ・パソコンでビジョントレーニングが出来るので、視機能の跳躍・追従・固視・視知覚・空間認知の力を鍛えさせることができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など ・なぞなぞでは、複数の子どもたちが問題を読み、答えは写真やイラストを見て確認できるので、大いに納得できたり、自分のイメージを確認できて楽しく学習に向かい合うことができる。 ・漢字学習ではアプリを使用することで、自分の書いた字とアプリの字を見比べることで児童が自分の間違いに気付くことができ、正しい漢字を覚えることができる。漢字テストでいい結果がでると達成感や自己効力感が高まり、学習意欲が高まる。 ・パソコンでビジョントレーニングに取り組むことで、眼球の跳躍・追従・固視や視知覚・空間認知の力を鍛えさせることができるだけでなく、自分のデータがどんどん更新されるので意欲が高まる。 		

・学年/教科	第6学年/家庭科	授業者 井ノ内 やす子
・事例タイトル	一年間の学習のまとめ	
<p>・授業の概要 (ねらい) ○学習したことをまとめ、タブレットを用いて全体で共有し学習を深め合う (授業展開)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、テーマを決め、資料を集めまとめる。 2、発表する時、相手に伝わりやすい工夫を考える。 3、班でシェアをして意見やよいところを話し合う。 4、自分の発表内容を確認し、書き方を工夫(絵・グラフ・図など)する。 5、タブレットで発表原稿をカメラで撮る。 6、全体発表(個々の項目に応じた評価を行い、良い点・改善点などを話し合う。) 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など ○使用機器 タブレット 1台 ○使用機能 スカイメニュー(投影・マーキング・比較)</p>		
<p>・伏山 STEPS との関連 <input checked="" type="checkbox"/>S(スキル) <input checked="" type="checkbox"/>T(ツール) <input checked="" type="checkbox"/>E(エクスプローラー) <input type="checkbox"/>P(プログラミング) <input type="checkbox"/>セキュリティ</p>		
<p>・タブレット活用により期待できる効果やねらい ○全員の学習方法や資料が自分のペースで見て考えることができる。 ○スカイメニューのマーキング機能を活用することで、児童の集中力が向上する。</p>		
<p>・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など ○カメラでの撮影時にピントを合わせるのが難しかった。 ○発表している内容が視覚・聴覚から入ることにより児童の集中力と理解力が向上した。 ○児童の「わかった」「できた」という思いが、次への学習意欲と積極性につながったと思う。</p>		
		

・学年/教科	第5学年/理科	授業者	大浦 正好
・事例タイトル	ヒトの誕生		
<p>・授業の概要</p> <p>(ねらい) ○教科書にはない動画や資料を大型画面で提示し理解を深める。</p> <p>(授業展開)</p> <p>1、導入 写真を見せて、授業の流れをイメージさせ、めあてを明確にとらえさせる。 2、教科書を読み、大事なポイントをおさえる。 3、NHK 動画を視聴する。教科書では伝えられない動きを映像で確認し学習を深める 4、まとめ</p>			
			
			
			
<p>・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など</p> <p>○使用機器 教師用パソコン 1 台、投影用ケーブル、(児童用タブレットでも可)</p>			
<p>・伏山 STEPS との関連</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>S(スキル)<input type="checkbox"/>T(ツール)<input type="checkbox"/>E(エクスプローラー)<input type="checkbox"/>P(プログラミング)<input type="checkbox"/>セキュリティ</p>			
<p>・タブレット活用により期待できる効果やねらい</p> <p>○写真よりも映像で確認することが出来るので理解しやすくなる。 ○全員の学習方法や資料が自分のペースで見て考えることができる。</p>			
<p>・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など</p> <p>○児童の「わかった」という思いが、次への学習意欲と積極性につながったと思う。 ○映像を見せることで集中して学習する児童が増えた。</p> <p>・その他</p> <p>断層や、岩石など児童の身近にないものを効果的に視聴させて興味をもたせることができた。</p>			
			
			

・学年/教科	第6学年/音楽科	授業者 杉谷 直美
・事例タイトル	音楽づくり「レミソラシの5音で作曲しよう」	

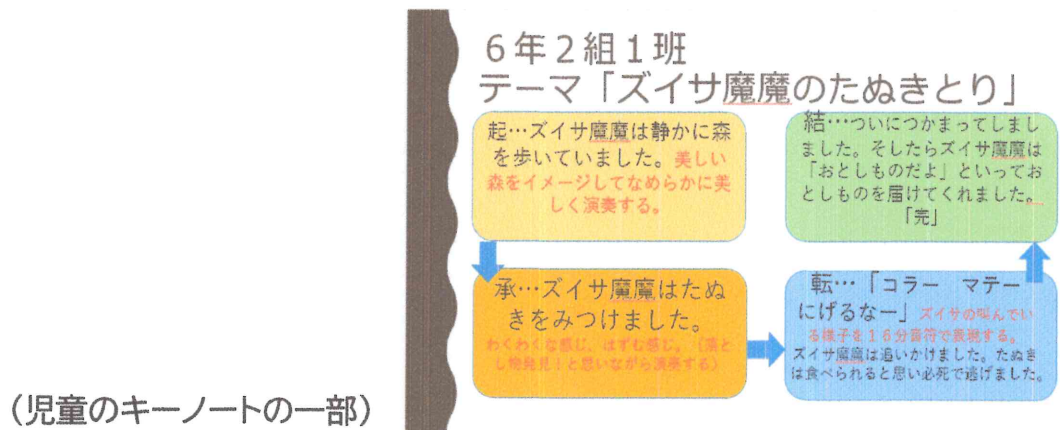
・授業の概要
(ねらい)

○ストーリーに合わせて5つの音で旋律をつくる。



(授業展開)

- 1、5つの音で4小節の旋律をつくる。(個人の学習)(リコーダー)
- 2、4人で16小節につなげる。音楽の要素を取り入れてつなげる順番を考える。(グループ学習)
- 3、曲に合うような4コマ漫画のストーリーを考える。(グループ学習)(ワークシート)
- 4、ストーリーに合わせて旋律を考え直す。速さや繰り返しなどの効果を入れる。(ワークシート)
- 5、演奏の仕方を話し合い録音する(ガレージバンド、または、ボイスメモ)
- 6、スライドに演奏を挿入して紹介の準備をする。(キーノート)
- 7、各班の演奏を聴いて、ストーリーと合っているかなど気づきや工夫を交流する。(キーノート)
- 8、お気に入りの曲を投票し感想を交流する。(学習のまとめ)



・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など

○使用機器 大型テレビ、アイパッド24台、○使用機能 ボイスメモ、ガレージバンド、キーノート

・伏山 STEPS との関連



S(スキル) T(ツール) E(エクスプローラー) P(プログラミング) セキュリティ


・タブレット活用により期待できる効果やねらい

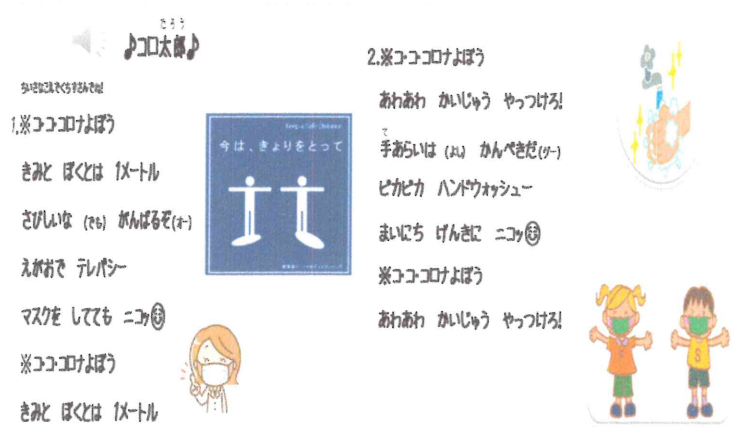
- 録音後に何度も再生して聴き比べることができて容易に作り直すことができる。
- 演奏が波形で表示され視覚的に確認できるので、息の出し方や演奏の仕方を話し合っ改善する姿がみられた。

・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など

- 自分の作ったリズムを保存することで友だちに聴いてもらうことが容易になった。
- 録音した曲はエアドロップで各班に配ることができる
- 自分たちのペースで鑑賞ができて、気づきや感想を書く量が普段より多かった。

・学年/教科	第6学年/外国語科	授業者 西口 史織
・事例タイトル	This is my town.「自分の町や都道府県について紹介しよう」	
・授業の概要 (ねらい)	<p>○自分の身近にあるものや日本にある有名な名所を知り、紹介する。</p> 	
(授業展開)	<p>1、地図に出てくる様々な場所を英語で言う。(絵カード)</p> <p>2、大阪にある観光名所を紹介する表現を学習する。(班活動)</p> <p>3、他の都道府県にある様々な観光名所や有名な食べ物を知る。(TV、パワーポイント)</p> <p>4、紹介したい都道府県を一つ選び、有名な観光地や食べ物について調べる。 (グーグルを使った画像検索)</p> <p>5、紹介カードを作り、写真で保存する。発表の準備をする。(カメラ、ワークシート)</p> <p>6、作成したワークシートを見せながら英語スピーチをする。 (大型テレビ、カメラ、エアドロップ)</p> 	
・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など	<p>○使用機器 大型テレビ、アイパッド24台</p> <p>○使用機能 グーグルアカウント、カメラ</p>	
・伏山 STEPS との関連	<p><input checked="" type="checkbox"/>S(スキル) <input checked="" type="checkbox"/>T(ツール) <input type="checkbox"/>E(エクスプローラー) <input type="checkbox"/>P(プログラミング) <input type="checkbox"/>セキュリティー</p>	
・タブレット活用により期待できる効果やねらい	<p>○行ったことがない場所でも容易に調べ学習ができる。</p> <p>○作成したワークシートを撮影することにより、容易に全体共有でき、より伝わりやすい英語でのスピーチができる。</p>	
・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など	<p>○自分のペースで知りたい、調べたい都道府県について調べることができ、積極的に授業に参加する児童が多かった。</p> <p>○撮影したワークシートはエアドロップで児童に配ることができる。</p> <p>○大型テレビにワークシートを映すことで堂々とスピーチができる児童が多かった。</p>	

・学年/教科	全学年／保健	授業者	伊藤 智恵美
・事例タイトル	手洗いうがいをしてコロナに負けない体をつくろう		
・授業の概要	<p>3分間 ぽんしどう </p> <p>コロナウイルスを広げないために 私たちができること</p> <p>まずは…正しく知ることから！</p>		
(ねらい)	<p>○手洗い、うがいの大切さを伝える。 ○ストレス解消のストレッチを紹介してコロナに まけない体をつくる。</p>		
(取り組み)	<p>1、 手洗いの大切さを歌詞にして 「ころ太郎の歌」を録音する。 (iPad、ガレッジバンド)</p> <p>2、 各教室でコロナについて正しい 知識、新しい学校のきまりを伝え る。(パワーポイント)</p> <p>「ころ太郎の歌」を再生する。 (iPad)</p> <p>3、 毎日長休みに放送で「ころ太郎の歌」を流して手洗いうがいを注意喚起する。 4、 ストレス解消のストレッチを「ころ太郎の歌」にあわせておこなう。 5、 リモート集会(iPad、Google meet)でストレッチの仕方を紹介する。</p>		
・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など	<p>○使用機器 教師用パソコン1台、 投影用ケーブル、(児童用タブレットでも可)</p> <p>○使用機能 パワーポイント、グーグルスイツ、 アイパッド(ガレッジバンド、エアードロップ)</p>		
・伏山 STEPS との関連	<p>☑S(スキル)☐T(ツール)☐E(エクスプローラー)☐P(プログラミング)☐セキュリティー</p>		
・タブレット活用により期待できる効果やねらい	<p>○録音や、先生方への配布などが容易にできる。</p>		
・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など	<p>○リモート集会…密にならずに全児童と一斉に歌やストレッチを確認することができた。 ○各教室…コロナについての知識を視覚的にわかりやすく伝えることができた。</p>		



♪ころ太郎の歌

今は、きよをとって

1. ※ココロおぼろ

きみと ぼくは 1メートル

さびしいな (ね) がんばるぞ(ぞ)

えががで テレビー

マスクを しても ニコ

※ココロおぼろ

きみと ぼくは 1メートル

2. ※ココロおぼろ

あわあわ かいじゅう やっつけろ!

手あらいは (お) かんべきだ(け)

ピカピカ ハンドウオッシュー

まいちち げんきに ニコ

※ココロおぼろ

あわあわ かいじゅう やっつけろ!

